

審判の役割基本事項

(基本を必ず覚えて、審判をしよう)

1 主審について

- ・ 前後、左右、高低にフットワークよく動き、なるべくボールのそばでジャッジするようとする。
- ・ 笛の音の長さ（3種類）の使い分けをはっきりする。特に、試合終了時のホイッスルは、しっかり強く吹く。
- ・ コールするときは、ホイッスルを口から落とし、大きくはっきりとした声で行う。
- ・ ファール時の手を挙げる動作、笛をしっかり行う。
- ・ アウト・オブ・バーンズの動作、笛をしっかり行う。
(アウト・オブ・バーンズの成立は、ボールが床、壁等にあたってから)
- ・ 協議を行った場合は、必ず両方にチーム、選手にセンターサークルよりもやや後方で選手全員に聞こえるように説明をする。
- ・ タイムインは、センターライン上の位置に戻ってから行い、守備側の陣営がととのってからタイムインをする。
- ・ ヘッドアタックならびに頭や顔面にボールがあった場合には、すぐにタイムをかける。選手の状態を確認したのち、監督をコートに呼び入れ、試合を続行するかどうかを確認する。
- ・ アタック時は、予想をして姿勢を低くし、バウンドしているかどうかを注視する。
- ・ ジャンプボールの時、ジャンパーのゼッケンを必ず確認する。

2 副審について

- ・ センターラインのオーバーラインを独りで見る。
- ・ 前後、左右、高低に動き、センターラインから目を離さずに、サイドラインにも目を配る。
- ・ 主審の見落としたアウトの素早いフォローをする。特に主審のプラインドをよく見る。
- ・ 低い姿勢でゲームを判定するときは、膝に手を置かない。
- ・ ジャンプボールのタップを注視する。
- ・ 試合終了時、主審が気付かない場合は、主審よりも早くコートに入り、試合を止める。

3 線審について

- ・ ゲーム中は、棒立ちにならないようにする。
- ・ プレーに遅れないように回り込み、判定すべきラインを体の中心においてみる。
- ・ コール、笛、ジェスチャーは主審に向かって大きくはっきりとする。特に、ノータッチ、ワンタッチの動作には注意をする。ワンタッチのコールは、大きな声で言う。「 番、ワンタッチ」
- ・ オーバーラインスローのアドバンテージをよく見る。
- ・ 主審、副審の見落としたアウトの素早いフォローをする。タイムを要求し協議する。タイムを要求した時のボールの支配権を必ず確認する。
- ・ アタックを予想し、姿勢を低くしてオーバーラインを見逃さない。

4 計時係について

- ・ 表示用デジタルタイマーの 0 になった瞬間が，試合終了であることをしっかりと認識する。
- ・ 試合終了時間 1 分前からタイマーを意識する。 終了と同時に大きくはっきりと笛を吹く。「ピッピーッ」
- ・ 主審のタイムの合図があったら，直ちにデジタルタイマーを止める。

5 記録係について

- ・ ゼッケンの色とチーム名を確認する。
- ・ 内野から外野に出る選手のゼッケン，外野から内野に入る選手のゼッケンを確認し，チェックする。(本来は，コートマスターの仕事，茨城県の取り決め)
- ・ 試合終了時に主審から人数の報告があったら，復唱し，記録表に記入する。
- ・ 両チームの監督から，勝敗を確認してもらい，サインをしてもらう。
- ・ スコアーカードにスコアーを記入し，勝ちに○，負けに×，引き分けに△をつけ，コートマスターからサインをもらい，最後に主審からサインをもらう。

6 その他

- ・ 選手が試合中怪我した場合は，気づいた審判がタイムを要求する。
- ・ タイムを要求した場合は，ボールの支配権を必ず確認する。
- ・ 靴ひもがほどけたときは，ボールデットの時に結ばせるようにする。
- ・ 6人の審判がアイコンタクトをとりながらジャッジする。
- ・ 協議は 30 秒以内に行うようとする。
- ・ **試合開始，終了時のあいさつについて**
オフィシャル席の 3 人は起立し，主審の礼にあわせて礼をする。
ベンチに入っている，監督・コーチ・マネージャーも起立し主審の礼にあわせて礼をするとともに，相手ベンチに対しても礼をする。